

平成 30（2018）年さけます来遊状況（第 2 報：9/30 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 676 万尾 [前年同期比：550%、一昨年同期比：76%、平年*1 同期比：84%]
- 9 月末までの来遊数は、大きく低迷した平成 24（2012）年以降では、大幅に増加した平成 28（2016）年に次ぎ 2 番目に多い
- 全道で 1 億 4,030 万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 29（2017）年の平均値

（北海道）

9 月 30 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 676 万尾 [前年同期比：550%、一昨年同期比：76%、平年同期比：84%] となっています。

9 月末までの来遊数は、大きく低迷した平成 24（2012）年以降では、大幅に増加した平成 28（2016）年に次ぎ 2 番目に多く、豊不漁年が逆転した平成 16（2004）から平成 22（2010）年までの偶数年に近い水準となっています（表 1 および図 1）。

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2005(H17)	914	918	2006(H18)	554	559
2007(H19)	1,488	1,491	2008(H20)	703	704
2009(H21)	1,107	1,111	2010(H22)	729	731
2011(H23)	551	553	2012(H24)	221	221
2013(H25)	321	325	2014(H26)	157	158
2015(H27)	210	210	2016(H28)	887	890
2017(H29)	123	123	2018(H30)	676	-
			平年	802	808

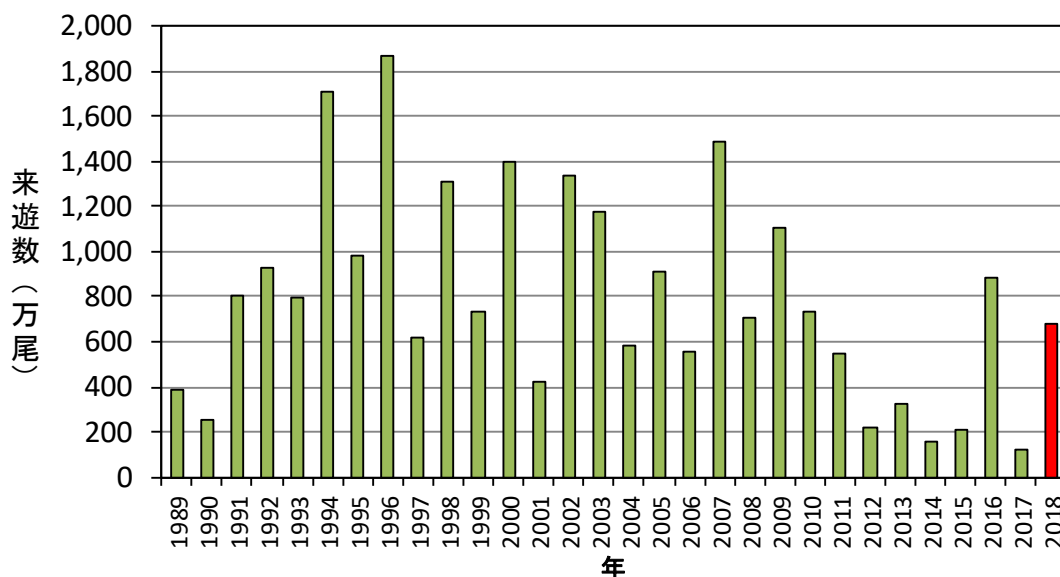


図 1. 7 月 1 日～9 月 30 日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2018 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では639万尾〔前年同期比：576%、一昨年同期比：77%、平年同期比92%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では38万尾〔前年同期比：317%、一昨年同期比：66%、平年同期比34%〕と、両地域ともに一昨年よりは少ないものの、日本海側では平年並の水準まで回復しています。

本年度の来遊のピークについては、沿岸漁獲は8月下旬で昨年、一昨年と同じ、河川捕獲は9月中旬で昨年より2旬遅く、一昨年と同じとなっています。

カラフトマスの河川捕獲数は、9月末時点で91万尾〔前年同期比：506%、一昨年同期比：125%、平年同期比：115%〕と前年及び平年を上回っています。（表2）。

採卵数については9月末時点で1億4,030万粒と、前年同期の119%となっており、本年の採卵計画数である1億7,290万粒の81.1%を確保しています。カラフトマスの採卵は10月で終了となります。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道) 単位:万尾

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2005(H17)	85	89	2006(H18)	88	94
2007(H19)	141	144	2008(H20)	91	92
2009(H21)	128	131	2010(H22)	85	87
2011(H23)	58	59	2012(H24)	25	26
2013(H25)	44	48	2014(H26)	26	26
2015(H27)	23	24	2016(H28)	73	76
2017(H29)	18	18	2018(H30)	91	-
			平年	79	85